	平成	28 平点	文学/为:	事業評価表(・		月 <i>)</i>						
	務事業名	÷ +p =// == +//						担		TEL 29	23-2396	
	820305	育相談事業			At 7 to dr			部	育センター			
		始年度 昭和		→	終了年度		十尺		教育相談			
2	事業の種別 分野別計画・指		事務	□ 法定受託事務		□ 法定员	受託+附加		<mark>心法令</mark> センター主任相談	員設置要綱 教育	シャンター相談員	
事	関連·類似事業								要綱、教育センタ・ター電話相談員設	一教育支援相談員		
業	総合計画の体	至 教育	・文化・スポーツ	ツ 節 学校教育		基本方針		の育成				
の概要				校教育にかかわるさまざまな 後の子どもたちへの支援の3		・いじめ・発	達障害∙非					
	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)											
	市民や学校から	市民や学校から、子どもの教育上の諸問題に関しての相談を受け、その解決のための支援を行う。										
③ 事	対象(誰を、何	対象(誰を、何を対象としているのか)						平成 26	年度	120,000	· 人	
業	市内在住の幼児・小・中・高校生・20歳未満の者			者及びそれらの保護者 園・	学校職員	対象数	単位	平成 27	年度	120,000	<u> </u> 人	
赤の	事業の具体的な	な内容及び実施	方法		<u> </u>			<u> </u>				
内容	・研修:生徒指導・教育相談中級研修会 特別支援教育研修会、教育相談校内研修支援、不登校予防研修会、心のふれあい相談員研修会 ・研究:小・中学校特別支援教育実践研究部、不登校予防研究部 ・電話相談・子ども電話相談 ・面接相談 ・園と中校巡回教育相談											
	≪会計種別次	→ 一般	会計	平成 26 年度	(千円)	平成	27	年度 (千	円) 平成	28 年度	(千円)	
	予算現額				30,658			30	,667		30,927	
	決算(見込み含む)		30,658					29,245				
4 経	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員) (正規職員人件費		10.00 人) (人) (1.60 人 13.954		(10.00 人) (人)※「財源内訳」について15.588平成28年度のみ、当初予算				
費	事業費合計			13,934		1.00 /			の内訳となっています。 の内訳となっています。			
	財一般財源			44,612		44,833		,833	30,927			
	源 内 訳 その他()											
5実结		頂										
		织	[目名	項目説明		単位		H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
		面接相談	.目名	項目説明 面接相談・延べ回数		単位		H 26 5,50				
績	活動実績	面接相談	ども電話相談		延べ回数				5,744	5,900	5,400	
績	活動実績	面接相談	ども電話相談	面接相談・延べ回数		回		5,50	5,744 5 2,407	5,900 2,500	5,400 2,000	
積	活動実績	面接相談 電話相談·子 園·学校巡回	ども電話相談 教育相談	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延ん		回 回 件		5,50 3,01 58	5,744 5 2,407 1 643	5,900 2,500 650	5,400 2,000 300	
	活動実績	面接相談 電話相談·子 園·学校巡回	ども電話相談	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談		<u> </u>	日標値	5,50 3,01 58 H 26	5,744 5 2,407 643 H 27	5,900 2,500 650 H28目標値	5,400 2,000 300 将来目標	
6成	活動実績 成果指標	面接相談 電話相談·子 園·学校巡回	ども電話相談 教育相談 目名	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延ん	ベ件数	回 回 件	目標値	5,50 3,01 58 H 26 7,74	5,744 5 2,407 643 H 27 0 8,000	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000	5,400 2,000 300 将来目標 7,700	
6	成果指標	面接相談 電話相談·子 園·学校巡回 項 相談対応件数	ども電話相談 教育相談 目名 数	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件	ベ件数 数	回 (中 (中) (中)	実績	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10	5,744 5 2,407 643 H 27 0 8,000 0 8,794	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 拡大図る	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「実績」 縮小図る	
6成	成果指標目標達成状況	面接相談 電話相談・子 園・学校巡回 項 相談対応件数	ども電話相談 教育相談 目名 数	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延々 項目説明 相談可能数に対しての対応件	(件数数	回 中 中 中 中 中	実績達成率	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10	5,744 5 2,407 643 H 27 0 8,000 0 8,794 5 91	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 「大変る 「どき チェックし	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 ☑ 「実績」 ⑥ 縮小図る ⑥ らかを てください	
6成	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27年度は ように助言や支 が高まった。他、	面接相談・子 電話相談・子 園・学校巡回 相談対応件参 されたに なれたに なれたに なれたに なれたに なれたに なれたに なれたに な	ども電話相談 教育相談 目名 牧 ナ目標に近づい レた点(改善内に があり数に注意) 数を減らすため、	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件	べ件数 数 でいます べださい) ごに推進る意識 後業務の見直	回 中 単位 件 %	実績 達成率 (2) 平成273	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標	5,744 5 2,407 643 H 27 0 8,000 0 8,794	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 「大変」 が大図る チェックし 達成の理由・ 標値には達し	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「実績」 「実績」 でください 分析	
6成果 ⑦改善	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27年度はように助言や支 い、〇各学校のが 係る対策の検討	面接相談・子 電話相談・子 園・学校巡回 相談対応件参 されたに なれたに なれたに なれたに なれたに なれたに なれたに なれたに な	ども電話相談 教育相談 目名 牧 サーロを記している。 サールでは、 サーは、 サーには、 サールでは、 サールでは、 サールでは、 サールでは、 サールでは、 サーには、 サーには、 サーには、 サーは、 サーには、 サーには、 サーには、 サーには、 サーには、 サーには、 サーと。 サーには、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サーにも、 サー	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件 でいるかを達成率として示して いるかを達成率として示して いて、学校が教育相談を投入のことを検討した。〇教育相談 めの検討、〇主訴として最も多し	でいます でに強さいり に推進できる ではに係る意識 後業務の見直 の「不登校」に	回回 件 単位 件 % 平成26年育 ○ 他課との	実績 達成率 (2) 平成275 度と比較し、 相談機能を 業務の重複が	5.50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標 相談件数は、一層高めてし	5,744 5 2,407 643 H 27 0 8,000 0 8,794 5 91 の目標値が未 減少したが、目 く必要がある。	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 拡大図る 「ども チェックし 達成の理由・ 標値には達し	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「実績」 「底小図る らかを てください 分析	
6成果 ⑦改善	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27年度はように助言や支、 し、〇各学校の以係。 が、〇名学校の以係。 「図」を対象の検討	面接相談・子 電話相談・子 園・学校巡回 相談対応件数 どれだし 等度中に改善を 音に表を育相が相談を たったい。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった	ども電話相談 教育相談 目名 牧 ナ目標に近づい レた点(改善内に があり数に注意) 数を減らすため、	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件 でいるかを達成率として示して ないて、学校が教育相談を組織的など、各学校の不登校対 次のことを検討した。〇教育相認 めの検討、〇主訴として最も多し は大 知	でいます でください) コに推進できる意識 策楽・系の校別に その 理由	回 回 件 単位 件 % で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績 達成率 (2) 平成275 度と比較し、 を は 機能を 業務の重携を一 務の効率化を	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標 ・相談件数は、一層高めてし ないよう、また 層推進してい。 で図り、業務の見	5,744 5 2,407 643 H 27 9 8,000 8,794 5 91 の目標値が未 減少したが、目 く必要がある。	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 拡大図る 「ども チェックし 達成の理由・ 標値には達し	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「実績」 「底小図る らかを てください 分析	
6成果 7改善点	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27年度はように助言を支持が高まった。他し、〇各学校の以係る対策の検討	面接相談・子園・学校巡回 相談対応件数 をれたした。子童では、本意では、本意では、本意では、本意では、本意では、本意では、本意では、本意	ども電話相談 教育相談 目名 女 オート (改善内に 対した点(改善内に 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件 でいるかを達成率として示して ないて、学校が教育相談を組織的など、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記めの検討、〇主訴として最も多し は、対策を払うなど、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記を規能的が表述して最も多し は、対策を払うなど、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記を規能を担じて、対策を担いて、学校が教育相談を組織的なを払うなど、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記が、○主訴として最も多し は、対策とは、対策を対策を対象を対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	べ件数 ないます でください) いに推進できる調査に係るの見しに 発来を校力に その他	回 回 件 単位 件 % で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績 達成率 (2) 平成275 度と比較し、 を は が 機能を で き い で き り の 重 複 を り で き り で り で り り い う い う い う い う い う い う い う い う い う	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標 相談件数は、一層高めてし ないよう、また 層推進業務の! 後室の機能を高	5,744 5 2,407 643 H 27 8,000 8,794 5 91 の目標値が未 減少したが、目 く必要がある。	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 が大図る デェックし 達成の理由・ 標値には達し	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「実績」 「実績」 でください 分析 ていない。学	
⑥成果	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27年度はように助言た。他 ように助言た。他 し、〇各学校の》 係る対策の検討	面接相談・子 園・学校巡回 相談対応件数 がれたい を生徒た。談教もの回 ・爰を育相が相談学室の ・続き、 ・一方向後	ども電話相談 教育相談 目名 女 オート (改善内に 対した点(改善内に 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、 対して、	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件 でいるかを達成率として示して ないて、学校が教育相談を組織的など、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記めの検討、〇主訴として最も多し は、対策を払うなど、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記を規能的が表述して最も多し は、対策を払うなど、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記を規能を担じて、対策を担いて、学校が教育相談を組織的なを払うなど、各学校の不登校対次のことを検討した。〇教育相記が、○主訴として最も多し は、対策とは、対策を対策を対象を対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	べ件数 数 でいます でに推進できる適直にに務めたが、「不登校」に 理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	回回 件 単位 件 %6 平校のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実績 達成率 (2) 平成275 度と比較し、 を計機能を 様務の重携を一 務のかい相談 りである。。 第8年代記述	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標 相談件数は、 一層がよっている。 「図り、機能を高めてしている。」 「図り、機能を高います。」 相談回数延べる。 相談回数延べる。	5,744 5 2,407 643 H 27 9 8,000 8,794 5 91 の目標値が未 減少したが、目 く必要がある。	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 が大図る でとき チェックし 達成の理由・ 標値には達し	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「 <u>家小図る</u> 」 「 <u>お小図る</u> うかをてください 分析 ていない。学	
6成果 7改善点	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27年やまが高まった。他、 し、〇各学校のは 係る対策の検討 「図と終するが高いでする。」 「図とのは、「図を学校のは、「図を学校のは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図とのは、「図を学校のは、」 「図を学校のは、、 「のを学校のは、 「のを学校のは、 「のを学校のは、 「のを学校のは 「のを学校のな 「のを学校のな 「のを学校のな 「のを学校の 「のを	面接相談・子 園・学校巡回 相談が・子 相談が、四回 相談が、名のでは、一番を は、そのでは、一番を は、そのでは、一番を は、そのでは、一番を は、そのでは、一番を は、そのでは、一番を は、そのでは、一番を は、そのでは、一番を は、そのでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、このでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ども電話相談 教育相談 目名 牧 プロスを減ら 対した点(改善内に 対の数ででは、 対の数ででは、 対の数ででは、 対の数ででは、 対の数ででは、 対の数ででは、 対の数ででは、 対の数ででは、 がのででは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件 でいるかを達成率として示して いるかを達成率として示して いているがを達成率として示して いているがを達成率として示して はた払うなど、各学校の不教育相談を組校対のの検討、〇主訴として最も多した。〇の教育相談を組続が、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には	でいます できる意直に来る会域が「不登校」に 理由 見状 推持	回回 件 単位 件 %6 平校のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実績 達成率 (2) 平成275 度と比較し、 を計機能を 様務の重携を一 務のかい相談 りである。 りである。 りである。 りである。	5.50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標 ・ 相談件数は、一層推進している。 ・ 管性進業務の ・ 管室の機能を高います。 ・ で図り、様をの ・ で図り、機能を高い機能を高います。 ・ で図り、表示である ・ で記される ・ で記	1 5,744 5 2,407 643 H 27 0 8,000 0 8,794 0 91 の目標値が未 減少したが、目 く必要がある。 市民相談窓口 記直しを図る。。 める。	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 「実績」 が大図る でとき チェックし 達成の理由・ 標値には達し	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「 <u>家小図る</u> 」 「 <u>お小図る</u> うかをてください 分析 ていない。学	
6成果 7改善点	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27 平成27年や支、 ように助言からでを検が 係る対策の検討 「図形形を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	面接相談・子園・学校巡回項相談・子園・学校が応応・学校が応応・学校が応応・選挙をものである。 続 「アート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がも電話相談 教育相談 日名 女 大きに近づい は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件 でいるかを達成率として示して さいて、学校が各学校の不教育相談を登校相談が、各学校のの表替を付記が、の主訴として最も多し は、大	では、 ないます では、できましている。 では、このでは、できましている。 では、このでは、できまましている。 では、このでは、できままない。 では、このでは、では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	回 回 件 単位 件 % で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績 達成率 (2) 平成275 度と比機能を を表の連携率相 が急のである。の 増たし、 を表の連携率相 が急ない。 増たし、 を表の連携を一をある。の 増たし、 ものである。の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標 ・相層・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5,744 5 2,407 643 H 27 0 8,000 8,794 5 91 の目標値が未 減少したが、目 く必要がある。 さ。 記直しを図る。。 める。 3794回に対して 39で面接相談か	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 □ 拡大 に で が で が で が で が で が で で が で が で が で が	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「実績」る でください 分析 ていない。学 てわかりやすく 世であるがある。 大しニー分・ナーンで、サーフ・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク	
6成果 7改善点	成果指標 目標達成状況 (1) 平成27 平成27 平成27年や支、 ように助言からでを検が 係る対策の検討 「図形形を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	面接相談・子 園・学校 巡回 項 相談 が・子 園・学校 巡回 項 相談 が れたに	がも電話相談 教育相談 日名 女 大きに近づい は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	面接相談・延べ回数 電話相談・子ども電話相談 園・学校巡回教育相談 延/ 項目説明 相談可能数に対しての対応件 でいるかを達成率として示して マ・その結果について記載していて、学校が教育相談を登校の不登校が次のことを検討した。○ ○ 教育相談 めの検討、○ 主訴として最も多し は、○ な 本 ・	では、 ないます では、できましている。 では、このでは、できましている。 では、このでは、できまましている。 では、このでは、できままない。 では、このでは、では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	回 回 件 単位 件 % で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績 達成率 (2) 平成275 度と比機能を を表の連携率相 が急のである。の 増たし、 を表の連携率相 が急ない。 増たし、 を表の連携を一をある。の 増たし、 ものである。の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	5,50 3,01 58 H 26 7,74 9,10 8 年度成果指標 ・相層・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5,744 5 2,407 643 H 27 8,000 8,794 91 の目標値が未 減少したが、目 く必要がある。 ・市民相談窓口 ・記直しを図る。。 3794回に対形 を後の方向性 り指導主度から配 りたり対応	5,900 2,500 650 H28目標値 8,000 □ 拡大 に で が で が で が で が で が で で が で が で が で が	5,400 2,000 300 将来目標 7,700 「実績」る でください 分析 ていない。学 てわかりやすく 世であるがある。 大しニー分・ナーンで、サーフ・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク・ナーク	